



# 登録医ニュース

## 絆 きずな



登録医療機関 (2月現在) 170 施設 194 名の先生方にご登録いただいております。

- (病院理念) 本院は、地域社会における中核的な先進医療保健施設として地域医療の充実と国民保健の向上に貢献します。
- (病院基本方針) 急性期医療を担う地域の中核病院として、安全かつ良質な医療を行うために適切な説明と同意に基づいたチーム医療を推進します。  
地域の医療・介護福祉施設と連携を図りながら高齢者にも対応できる幅広い医療を提供します。  
個人情報厳格に保護し、診療内容に関しては真実説明で対応します。

目次	
副院長挨拶 .....	1
診療科紹介 (整形外科) .....	2
部門紹介・検査委託について .....	3
ゴールデンウィーク外来診療のお知らせ	
部門紹介・異動退職のご挨拶 .....	4

## ご挨拶



副院長 えんどう こうじん 遠藤 公人

冬といえば、大雪はいつ降るかという例年身構えるのですが、今年は暖かい冬でした。雪掻きもせず、このまま穏やかに春が迎えられそうです。

さて、平成の時代も幕を閉じようとしています。当院は、平成 10 年に長町から中田へ移転し、それに合わせて宮城健康保険病院から宮城社会保険病院に改称されました。また、大きな転換点である JCHO 仙台南病院に生まれ変わったのは平成 26 年春ですので、新体制になって丸 5 年が過ぎたこととなります。

JCHO となってから大きな変化の波が押し寄せました。地域包括システムという考え方が進み、当院も急性期一辺倒の姿勢を改め、慢性期にある患者さんも積極的に受け入れる体制作りが求められたのです。際たる動きが平成 26 年秋の包括ケア病棟開設ですが、一般病棟でも、それまでは受け入れなかったような疾患や複雑な病状の方に何とか対応しようとする方針は、ようやく全職員に浸透してきたと感じております。

さらなる高齢化に直面する新しい時代は、地域包括ケアシステムを今以上に円滑に機能させることが求められており、それは JCHO に課せられた大きな使命でもあります。昼夜を問わず地域で活躍されている先生方や介護福祉に携わる方々のお役に立ち、そして住民の健康福祉に貢献できるよう、小さな病院ではありますがあらゆるニーズにお応えしたいと考えております。

新年号となりましても、これまで以上のご厚情を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。



当科では、四肢・脊椎の外傷から、変性疾患も含め、整形外科一般としての診療を行っており、なかでも肩関節、股関節、足部に関しては、より専門的に診療を行っています。

また、当科では小児整形外科診療、骨粗鬆症診療も特筆すべき分野です。

関節が痛い、動きの制限がある、使い辛い、背中が丸くなった、あし(脚)の彎曲が目立つ等々ありましたら、外傷・非外傷問わずにご紹介いただきますと幸いです。検診や四肢の身障診断も対応可能ですので、地域連携室でご予約ください。

整形外科医は2名のみですが、二人とも専門医で、新生児から超高齢者まで幅広く診ております。年齢による変化（発達や加齢性変化、障害など）や生活状況、合併症も考慮し、より良い生活を過ごせる様に、診断し、治療を行います。治療は、保存療法では、生活指導、内服や注射、装具治療を行い、手術療法も適宜検討いたします。

さらに予防、リハビリテーションや介護についても指導、助言を行っております。

当科外来は、全国でも珍しい女性医師のみの勤務で、看護師も担当事務も全て女性、という体制で日々の診療を行っています。スタッフ皆で、優しく、にこやかに、でもお話しははっきりと、元気に、というモットーで、フットワーク良く毎日の外来を運営しております。

整形外科分野も各病院で専門性が分かれてきており、当科で検査や治療が全て可能ではありませんが、病病連携は確立しておりますので、まずはご相談、ご紹介いただければ、患者さんに最適なことを考えたいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。



前列中央左:後藤昌子医師

前列中央右:管野敦子医師

外来スタッフ一同

### 整形外科ご紹介時のお願い

完全予約制ではございませんが、待ち時間短縮のため、地域連携室を通してご予約をお願いします。お急ぎの場合や、ご希望の日時を配慮致します。

当院検査科は臨床の先生方に正しい診断をして頂くため、正確なデータを迅速に提供することを目標に日々努力しております。人員構成は、臨床検査技師 8 名で生化学・血液などの検体検査と心電図・超音波などの生理検査を行なっています。検体検査においては内部・外部精度管理を適時に実施し、精度の高いデータを迅速に各診療科に提供しています。また技師 8 名のうち 7 名が日本超音波医学会認定の超音波検査士の資格を複数取得しており、腹部・心臓・血管・乳腺など年間 1 万件の超音波検査を実施しています。各診療科の先生からのスクリーニング検査、精密なフォローアップ検査、緊急的な場面での検査など多岐に対応、臨床に役立つ情報を発信することを心がけています。

当検査科では地域連携の一環として、地域の先生方からの超音波検査オーダも受託しております。紹介患者さんは診察なしで直接検査を受けることができます。昨年は腹部・心臓・甲状腺などのオーダを頂きました。申し込み方法など詳しくは当院地域連携室にお尋ねください。

これからも地域の先生方のお役に立てるよう頑張りますので、気軽にご利用いただければと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

### 《当院検査科の主な超音波関連資格》

(延べ人数)

超音波検査士	7名
内訳	
腹部領域	7名
循環器領域	6名
血管領域	2名
泌尿器領域	4名
体表臓器領域	3名
精度管理中央機構	6名
乳房超音波検査技師	6名



### 検査・放射線 検査委託について

当院の外来は受診せず、医師を介さない検査になりますので、待ち時間なく検査が可能です。診療報酬の請求は登録医の先生方に行っていただき、後日当院より実費をご請求させていただきます。

検査結果にご質問、お問い合わせ等がある場合は、当院技師が直接対応致しますので遠慮なくご連絡ください。ご指摘や結果についてのディスカッションは技師たちも望んでおります。

ご不明な点がございましたら、地域連携室(022-306-1740)までお問い合わせください。

日頃より地域の先生方には大変お世話になっております。

当診療放射線科は診療放射線技師 7 名とクラーク 1 名にて構成され、CT・MRIをはじめ X 線一般撮影、健診胃透視など院内の画像検査業務を行っております。この 1 月には待望のデジタルマンモグラフィ装置が導入され、これまでより低被ばくで高精細な画像の提供が可能になりました。これからの乳腺診療における診断能の向上と検査時間の短縮による患者様の負担軽減が期待されております。

さて、先生方と我々のつながりであります CT・MRI の受託検査に関しましてはお陰様で昨年 438 件のご依頼をいただきました。また外部放射線科医の遠隔読影による検査レポートの作成も可能ですので是非ともご利用ください。検査に関しましては先生方のご依頼内容に沿った適切な情報を提供できるようスタッフ一同取り組んでおりますが、ご要望等ございましたら何なりとお申し付けください。

今後ともご利用宜しくお願い致します。



## ゴールデンウィーク外来診療のお知らせ

通常診療 4月30日(火)・5月2日(木)

4月30日(火)・5月2日(木)は通常診療となりますが、当番医休診の場合がありますので、ご確認の上、受診をお願い致します。



## 異動・退職のご挨拶



事務部長 宗像 広

JCHO 仙台南病院には事務部長として二年間お世話になりました。4月1日からは国立病院機構宮城病院での勤務となります。

ちょうど二年前にこの登録医ニュース絆に赴任の挨拶を記載し、その後 朝倉院長と登録医の先生方へ挨拶を兼ねて訪問した際にある登録医の先生から「登録医ニュースに掲載されていた事務部長さんですね。」と話しかけられ、登録医の先生方の当院への関心の高さを実感しました。短い間ではありましたが、大変お世話になりました。



地域連携室長  
松浦 ひろ子

桜の開花が待ち遠しい季節となりました。

連携施設の先生方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、私こと3月をもちまして定年退職を迎えることとなりました。連携室勤務は1年という短い間でしたが、地域の先生方には大変お世話になり、ありがとうございました。

今後も、当院の診療及び運営に関しまして、ご理解とご支援及びご指導を賜りますようお願い申し上げます。

